

【2月・1歳児・1週目】

ほいくのおまもりプラス

週のねらい		・豆まきに参加し、異年齢児と共に楽しく過ごす（教育） ・保育者や友達と一緒にっこ遊びを楽しむ（教育）			
日にち	場所	内容	ねらい	配慮事項	準備
1/29(月)	晴 園庭	園庭の砂場遊び	保育者や友だちと山を掘ったり穴を掘ったりすることを楽しむ	砂場セットのおもちゃは限りがあり、取り合いになりやすいため、人数が集まり過ぎた際は、別の遊び場に移行するなど臨機応変に対応する	砂場セット、三輪車等の外遊びセット
	雨 保育室	動物ごっこ	動物の動き（四足歩行など）を模倣し、その動物になりきることを楽しむ	実際に犬や猫などの動物の真似をすることで、子どもたちが模倣する機会を増やす	スズランテープ（しっぽに見立てる）
1/30(火)	晴 公園	散歩	友だちと一緒に散歩することを楽しみ、散歩中は話を伝え合おうとする	「○○ちゃん、草っぱを見つけたんだって」など、子どもが発信したことを保育者が全員に伝えるようにする	散歩セット（着替え、水筒、コップ、園携帯、タオル、着替え等）
	雨 ホール	室内遊び	友だちが使っているおもちゃを使いたい時には、「貸して」と伝えることを知る	貸したいおもちゃがあるといふ気持ちを受け止めつつ、貸してもらうために必要な言葉があることをその都度伝えていく	ブロック、三輪車、ボール等
1/31(水)	晴 保育室	製作（鬼のお面）	なぜ鬼のお面を作るかを聞き、節分の行事を知る	鬼と聞くだけで不安になる子も予想されるため、怖がらせないように明るいトーンで話をする	お面、シール、毛糸
	雨 保育室	製作（鬼のお面）	どんな顔の鬼にするかイメージを持つ	泣き虫鬼や怒りんぼ鬼など、色々な表情の鬼の見本をいくつか用意してイメージを持ちやすいようにしておく	お面、シール、毛糸
2/1(木)	晴 ホール	しっぽ取りゲーム（保育者が鬼で固定）	動物の動きから遊びを発展させ、動物になり切れて走って逃げる楽しさを味わう	子どもたちが楽しんで参加できるように、保育者は捕まえることだけを目的とせず遊びを展開させていく	スズランテープ（しっぽに見立てる）
	雨 ホール	しっぽ取りゲーム（保育者が鬼で固定）	友だちと一緒に集団遊びの楽しさに気づく	逃げる途中になり、友だち同士でぶつかってしまうことも予想されるため怪我には十分に注意する	スズランテープ（しっぽに見立てる）
2/2(金)	晴 ホール	節分の集い	節分のために豆を投げようとする	鬼は可憐だということを事前に伝え、子どもたちが一回投げられるように保育者はサポートする	お面、豆、豆を入れる箱
	雨 ホール	節分の集い	友だちや保育者と一緒に節分という行事に参加する	鬼について参加を嫌がる子も予想されるため、その際は保育者はそばにいたり、抱っこをして対応する	お面、豆、豆を入れる箱
週の評価	節分の集いでは、鬼が登場してほとんどの子が泣いていたが、サポートしながら豆をぶつけることができた。日付の上、週末が節分の集いだったため、来週は登園を渋る子がいるかもしれないので、週明けは子どもたちが好きな遊びを行い、園生活に期待が持てるように対応していきたい。				